



**【葬儀業界の現状と背景】**

葬儀単価は下落の一途を辿っています。それを補うために、アフターサービス強化（仏壇・墓・樹木葬・お出物・遺品整理・不動産等）を行っているが、ES低下の危険性も。最も重視すべきことは、葬儀文化の継承ではないでしょうか？ 供養の本質をお客様に問いかけ、年忌法要の重要性を伝播することです。

**【提案】**

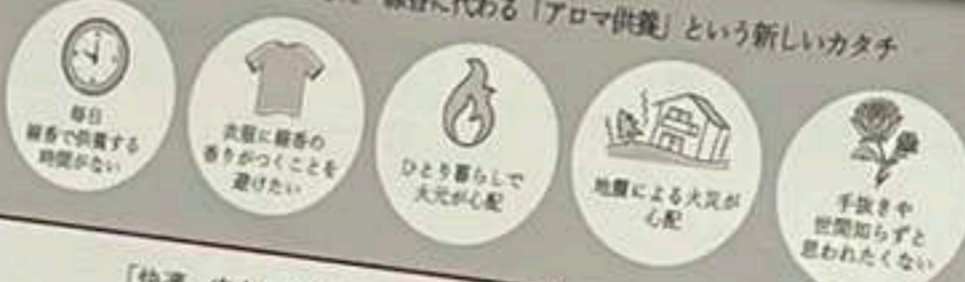
時間にお金がない時、火元が心配な時、線香の匂いが気になる時は「線香の代わりにアロマを2箇所向け、そして、燃ふ」。現代の生活環境に合わせた新しい供養のカタチ「アロマ供養」を提案します。共に葬儀文化の継承、そして未来を変えませんか？  
※アロマ供養は葬儀前の商品です。（当社調べ）



生活の本とカケルが共同開発したオリジナルオイル  
～香りSTORY～

- 【ラベンダー＆ビャクダン】 夜更 安らぎ効果があるとされているラベンダーの香りで「故人に安眠を」「遺族に安らぎを(グリーフケア)」
- 【朝の緑茶】 グリーンティー・実家立ての煎茶とビャクダン 生前にもっとも食したであろう食べ物「ごはん」と飲料「お茶」を香りに

お客様の声から生まれました。線香に代わる「アロマ供養」という新しいカタチ



**「快速・安全、10秒供養」**

**【顧客さまが得られるコト】**  
快適な空間  
火災からの安心安全  
時間短縮  
～大切な人を想い、敬う心～

**【葬儀社さまが得られるコト】**

CSR（企業社会的責任）の向上  
年忌法要等のUP → 料金の削減規模へ  
打合せ時間の短縮 → 労働時間削減へ  
準備UP → 関係的な華語（紙や料理など）  
～葬儀に携わる者として「伝える」使命感と達成感～



**私たちの信じること**  
大切な人（故人）をしっかりと供養し、敬う世界へ。  
私たちは挑戦します。  
儀礼文化を継承することへの挑戦です。  
日本の現在と未来を変えたいと考えています。

死後、四十九日間でさえも遺影と向き合えない日があります。  
故人を想い、向かい合う（供養する）ことにより、敬う大切さを体感してほしい。その後、年忌法要や葬儀の在り方を自問するキッカケになれば...

この未来を変えるという信念（思い）から、私たちは「アロマ供養」という新しい向き合う方法を創りました。毎朝、遺影に向かい合うことを楽しくする、嬉しくする、気軽に（十秒）、「安心安全（火を使わない）」、「心地いい香り」。「短時間（十秒）」、「安心安全（火を使わない）」という要素が備わっています。